

○健康管理センター維持管理経費 《健康・スポーツ課》

事業の現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 健康管理センターは、町民の健康増進及び公衆衛生の向上に資するための事業を実施する団体等に関り利用を認めているが、施設の性質上、利用料は徴収しておらず、稼働率の把握も行っていない。(平成24年度から寒川町社会福祉協議会が指定管理者として管理運営を行っているが、協定書においても施設稼働率に関する規定はない。) ◇ 旧館は昭和56年度、新館は平成2年度からの事業開始で、施設の老朽化が著しい状態である。 	
評価結果	事業の方向性	現行 (委員別内訳 現行:3、要改善:2)
	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 健康管理センターは指定管理者による運営がされており、概ね妥当だが、施設の有効活用のため、また、町民の健康増進のため、指定管理者による自主事業を増やすとともに、施設稼働率の目標値を設定し、把握することが重要である。そのためには、指定管理者に創意工夫を促す仕組みづくり(協定書に規定を設けるなど)が必要である。 ◇ 老朽化により今後も修繕箇所が増加が懸念される。町事業(予防接種事業)による利用が減少していることから旧館廃止という方向性も含め、今後の活用を検討するとともに、中長期的な修繕計画の策定が必要である。 	
	予算額	現行 (委員別内訳 現行:5)
	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 現状を維持。ただし、現状の予算(協定)の範囲内で、健康管理センターの有効活用を図るべく、施設稼働率の目標数値を設定すること等に関し、指定管理者との協議・検討を実施されたい。 ◇ 受益者負担の観点から、施設利用(特に借地のゲートボール場)の有料化を検討し、歳入の増額を図られたい。 	

《健康管理センター維持管理経費に係るヒアリング・協議の内容》

- (委員長) 施設利用件数 1,007 件のうち、町が関与して使用した件数と社会福祉協議会が主催した事業による使用件数及び町が関与せず、町民が使用した件数は何件か。
- (主管課長) 地域保健センターという性格なので、趣味の団体等の使用については基本的には行えない施設となっている。ただ、町においては、寒川町公民館が老朽化したことで閉鎖している状況となっており、その関係で公民館で活動していた町民が行き場が無くなってしまったことから、健康維持に関して活動している団体に限って使用することを認めている。
- (担当) 件数については、平成 23 年度の実績で、町事業としては 337 件、一般利用については 423 件、全部で 760 件となっている。
- (委員長) 平成 24 年度の使用件数が 1,007 件で平成 23 年度が 760 件では、随分使用頻度が違う。理由は何か。
- (担当) 平成 24 年度からはゲートボール場の受付も新たに始まったので、プラス分についてはほぼゲートボールによる件数となっている。
- (委員長) ゲートボール場は今まで無かったのを新しく作ったのか。
- (担当) 指定管理の業務の一部に入れたのが平成 24 年度となっている。
- (委員長) 公民館が開いていた時代は、趣味の団体から利用料は取っていたのか。
- (主管課長) 公民館は無料で貸していた。
- (委員長) 町の施設は全部無料なのか。
- (主管課長) 公民館は、社会教育施設となるので、地域の方々が生涯学習していただくための施設ということで、原則無料開放となっていた。
- (委員長) 指定管理の規約の中に、施設の利用促進という部分はないのか。
- (主管課長) 基本協定の中で、指定管理の団体を選任する段階では、自主的な事業を行い、集客も含めて施設の目的に叶った事業を行っていただいた方が良いという方向ではあった。
- (委員長) 自主事業を行ってもらいたいというのは中に入っているのか。
- (主管課長) 入っている。
- (委員長) その時に、稼働率及び参加人数の目標みたいなものはないのか。
- (主管課長) 協定書の中には入っていない。
- (委員長) 適切に事業を行ったかどうかを、どうやって判断するのか。
- (主管課長) 絶対条件という形ではないので、それがないと出来ないという募集をかけていないので、出来る限りしてほしいというスタンスでいる。
- (委員長) 社会福祉協議会は、自主企画の事業をたくさん行っているのか。
- (主管課長) 社会福祉協議会自体が、福祉団体ということになるので、福祉関係の事業は行っている。ただ、指定管理者としての事業となりまして昨年度は行っていない。
- (委員長) 各施設の予約はいつから行えるのか。
- (主管課長) 使用する日の 2 ヶ月前から受け付けている。
- (委員長) 指定管理の契約の中に、初めて 1 人常駐の人件費が入ったのか。
- (主管課長) 常時 1 名で 2 名体制というのが最低の条件となっており、社会福祉協議会の組織自体が健康管理センターに移ってきており、予算的にはそれまでは、社会福祉協議会補助金の中に人件費が含まれていた。しかしそうすると、一般に指定管理の募集をかけたときに、人件費が含まれていないと、まったく他の事業所との競合が出来ない状態で、対等の募集が出来ない状況だったので最低の人数の人件費を指定管理に含んだため、社会福祉協議会補助金を削った経過がある。
- (委員) 社会福祉協議会の選定基準で、施設が老朽化していることから、電気設備・機械設備の専門家がいないか。

(主管課長) この選定基準の中では、再委託を当初から認めているので、専門的な職員がいなくてはいけないといった条件は入っていない。

(委員長) 利用者アンケートを取っているようだが、満足度を測る項目は入っているか。

(担当) アンケート結果を昨年度だし、この中では、施設に対しての満足度は項目に入っている。43名の方からアンケートの回答をいただき、窓口職員の対応が満足の方が27名、施設に対する満足度では20名の方が満足と回答している。設備については13名の方が満足となっている。

(委員長) 老朽化対策については、耐震基準をクリアしているようだが、全体的に建物を維持管理・補修していく計画等はないのか。

(主管課長) 雨漏りに関しては、平成22年度に修繕をしている。大きな改修は終わりましたが、そこで手がけられなかった部分が若干残っているので、それについては改修しなくてはいけないと考えている。

(委員長) 考えているが、現段階では具体的な改修計画はないということか。

(担当) 屋上の防水工事については、平成26年に新館3階部分を行うことで予算計上している。

(委員長) 検診などを健康管理センターで行っていると思うが、レントゲンなど医療機器はこの施設には無いのか。

(主管課長) ありません。維持管理で大変なお金がかかり、専門の職員等も常駐させなくてはならないので、検診車等を配置できる事業所と連携を組み、希望通りに派遣してもらるのが一番合理的だと考えている。

概要説明書

事務事業・事務経費名	健康管理センター維持管理経費	体系コード	—
主管課等名	健康・スポーツ課 健康づくり担当	事業開始年度	昭和56年度

○事務事業・事務経費の概要

目的	健診等の各種事業の開催場所である健康管理センターについて、施設としての機能維持と運営管理を行い、町民の健康増進及び疾病の予防を図り、併せて公衆衛生の向上に資する。		
概要	指定管理者制度により管理運営を行い、利用者の利便性の向上を目指す。		
目標	施設利用件数(予防接種室、多目的ホール、会議室、栄養実習室、ミーティングルーム、母子保健室、ゲートボール場) 1,007件	平成24年度の指標	—
		平成24年度の実績	—
効果	健康管理センター利用者数 27,626人	平成24年度の指標	—
		平成24年度の実績	—

○平成24年度実施内容

(単位:千円)

実施方法	○委託業務の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (委託業務名と委託先:寒川町健康管理センターの管理に関する基本協定書(寒川町社会福祉協))			
	○補助金の有無： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (補助金名と補助先)			
主な事務の内容とその額	事務	詳細内容	平成24年度 決算見込額	平成25年度 予算額
	・健康管理センター管理委託料	・指定管理期間(平成24年4月1日～平成29年3月31日)内に健康管理センターの管理業務を行う。 ・センターの利用承認及びその取消 ・センターの施設及び設備の維持管理 ・その他の事業	10,850	10,850
	・保険料	・施設に係る火災保険料	102	102
	・テレビ受診料		15	0
	・土地借上料	・ゲートボール場及び駐車場土地借り上げ料	1,858	1,435
	・機械器具借上料	・コピー器具借上料	12	10
事業費・経費 計			(a) 12,837	12,397
平成24年度人件費相当額			(b) 394	平均給与額 @6,566千円 × 0.06人
本事業・経費に係る費用の計			(a)+(b) 13,231	

概要説明書

○平成24年度の実施状況に対する内部評価

評価の視点		評価のポイント	評価	理由
妥当性	事務事業を実施する必要があるのか	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な事務事業か ・事務事業のニーズは ・事務事業の公共性は ・社会環境変化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当である □ どちらかと言えば妥当である □ あまり妥当ではない □ 妥当ではない 	職員が毎日施設の状況を確認し管理することが困難なことから、適切な管理を行うことは、安全に町民の健康増進や疾病予防を図るためには必要である。
	町が主体となって実施する必要があるのか	<ul style="list-style-type: none"> ・町が実施すべき事務事業か ・町が実施しない場合の影響は ・町民との協働は進めているのか 	<ul style="list-style-type: none"> □ 町が行わなければならない □ 町が行った方がよい ■ 町が行うべき必然性は低い □ 町が行うべきではない 	民間の能力を活用することにより、住民サービスの向上に繋がる。
有効性	対象者の満足度や事業の達成度かどうか	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の達成度 ・活動内容は適切か 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成果が上がっている □ 成果は十分とは言えない □ 成果が上がっていない 	指定管理者が利用者へのアンケートを行い、ニーズの把握に努めている。
効率性	事業費・経費に無駄はないか	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的に行われているか ・コストの削減 ・実施手法 ・受益者負担 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 適切である □ 適切ではあるが改善の余地がある □ 効率的でない 	指定管理者が、効率を良くするため十分検討し、事業を実施している。
必要性 (事業規模の縮小や休廃止した際の影響等)		職員が本庁舎で執務しているため、状況把握が困難であり、施設の維持管理(各種支払い、修繕作業、貸出業務等)の効率が悪くなり、コスト増になる。		
平成25年度に向けた課題		年々、施設が老朽化していくため、危険性が高い修繕が必要になった場合実施する。		
平成25年度(現時点)の状況と今後の方針		施設が老朽化しているため修繕が必要な箇所が多くなってきている。効率的に実施するよう検討が必要。		

○その他

町における類似事業	なし。
比較参考値 (他自治体の状況・ベンチマーク等)	近隣で保健センターを指定管理制度で運営しているという事例を聞かないため比較が難しい。
特記事項 (事業の沿革等)	旧館は平成56年度、新館は平成2年度より、地域保健活動の拠点として事業開始。 平成23年度に指定管理が終了するのに伴い、平成24年度から5年間の業者を募集。提出された資料及びプレゼンテーションを実施し検討委員会で精査した結果、(社)寒川町社会福祉協議会を選定し、12月議会で議決し決定した。

健康管理センター維持管理経費 《健康・スポーツ課》

委員氏名	確認したい内容(希望する資料)	回答
石田 委員長	健康管理センターの委託の契約内容？	・施設の利用許可及び取消しに関する業務 ・施設及び設備等の維持管理に関する業務等
	健康管理センターの各施設の稼働率？委託契約に稼働率の規定はあるのか？	契約では稼働率の規定はありません。稼働率は計算していませんが、利用件数は、年間予防接種室226件、多目的ホール255件、会議室112件、栄養実習室101件になります。
	健康管理センターの利用料収入と管理支出がわかる内訳書	利用は無料になります。支出は別紙1のとおり。
	1年間の開館日数。	原則は土曜日、日曜休日、年末年始(12/29～1/3)は休館になりますが、健康・スポーツ課主体の検診等を土日に実施したこともあり、H24年度は258日になります。
	各施設の利用料金、利用料金の改定頻度。	利用料金は無料になります。
	利用者数、各施設の稼働率、収支の経年推移。	稼働率は計算していませんが、利用件数は、年間予防接種室226件、多目的ホール255件、会議室112件、栄養実習室101件になります。 ・指定管理委託料 H24年度 10,850,000円 H23年度 8,533,290円 H22年度 8,500,000円
	指定管理者は変更したのか？前の指定管理者に比べサービスは向上したのか？経費は上がったのか？	今回は人件費を計上しているため、増になっています。
	健康管理センターの常駐職員(委託)数。	1名
国・県から補助金を得ている場合は、その金額と補助率。	補助はありません。	
宮内 副委員長	「町が行うべき必然性は低い」に評価されているが、今後の方向性の検討はいかがですか。	今後も指定管理制度を活用し、民間が持つノウハウを生かし運営していきたいと考えています。

新木委員	旧館はいわゆる新耐震基準の建物でしょうか。	昭和56年1月に建築した建物で、新基準でないため、H23年度に耐震診断を実施しました。耐震指標1.10(0.6以上であれば問題なし)で条件をクリアしています。
生田委員	寒川町内外で募集したと思いますが応募に応じた会社及び団体の数。	町内の2団体が応募しました。 社会福祉法人 寒川町社会福祉協議会 特定非営利活動法人 スポーツクラブ1994
	寒川町社会福祉協議会を選定した根拠。	選定基準に基づく評価を行い、各項目につけられた合計表点数の最も多い団体に決定しました。
	福祉協議会は福祉基金を人件費に充当、および人件費積算根拠が不明確と指摘された団体です。老朽化した建物、機械設備、電気設備を維持管理する専門的知識と資格をもった人材が在籍してますか。	該当者はいません。
吉田委員	健康管理センターの施設はだいぶ老朽化しているが、今後どのような対策を考えているのか。	旧館は耐震基準をクリアし、新館は基準後の建物のため地震に対しては問題はないと考えます。雨漏りや施設自体の老朽化に対しましては、効率的に改修等を実施していきたいと考えます。
	現在、社会福祉協議会と委託しているが、その他民間との委託は検討しているか。	現在の指定管理はH28年度までです。H29年度以降は今後検討を行っていきます。

H24年度健康管理センター管理受託事業委託実績報告書

【単位:円】

項 目		予算額	実績額	
健康管理センター管理委託料		10,850,000	10,695,470	
各種維持管理経費		4,246,468	4,102,562	
消耗品費	276,780	トイレットペーパー (12ロール×8袋) 3,120円×15箱	46,800	24,960
		蛍光灯 1,400円×20本	28,000	21,000
		蛍光灯 780円×15本	11,700	0
		蛍光灯 666円×10本	6,660	0
		サークライン 1,000円×10本	10,000	5,950
		看板代	50,000	39,900
		消耗品	123,620	150,297
		燃料費	42,000	プロパンガス @3,500×12ヶ月
光熱水費	3,272,940	電気料金 @250,000×12ヶ月	3,000,000	2,886,768
		水道料金 @15,000×12ヶ月	180,000	118,381
		下水道使用料 @7,000×12ヶ月	84,000	55,704
		ゲートホール場水道料金 @745×12ヶ月	8,940	8,940
修繕費	350,000	施設修繕	350,000	432,914
通信運搬費	259,308	回線使用料(3回線) @7,203円×3回線×12ヶ月	259,308	259,308
手数料	16,000	簡易専用水道検査	16,000	16,000
損害保険料	16,440	賠償責任保険料	16,440	16,440
租税公課	13,000	収入印紙	13,000	22,400
施設維持管理委託			4,569,532	4,558,371
		清掃委託料(年12回)	2,606,100	2,604,000
		冷暖器保守点検委託料(年2回)	573,300	572,250
		自動ドア保守点検委託料(年4回)	54,600	54,600
		自家用電気工作物保安管理業務委託料(年6回)	220,605	220,605
		自動火災報知機点検業務委託料 (年2回・消火器交換費含む)	319,867	283,500
		エレベーター保守点検業務委託料(年4回)	466,200	466,200
		施設警備委託料	152,460	152,460
		便所洗浄交換委託料	113,400	102,816
		高木手入れ	63,000	52,500
		草取り委託料	0	49,440
人件費		非常勤職員賃金	2,034,000	2,034,537